

平成28年度第4回幹事会の概要

◆日時／場所／参加者

日 時：平成29年3月23日（木）14：00～16：20

場 所：メートプラザ佐賀2階 大会議室

参加者：役員22名（うち1名代理出席）、事務局4名 ※欠席3名

【次第】

1 開会

2 会長挨拶

3 議題

(1) 今年度下半期事業報告（未報告・実施中分）について【報告事項】

(2) 次期中期推進項目（案）について【決議事項】

(3) 来年度事業の具体的方向性について【決議事項】

(4) 本協議会の今後の方向性の検討について【決議事項】

(5) 次期幹事、各Gについて【決議事項】

4 その他

来年度総会の日程調整、第1回幹事会、
定期総会・第1回ICT利活用講演会について

5 閉会

◆報告内容に対する主な意見等

(1) 今年度下半期事業報告（未報告・実施中分）について【報告事項】

[1] ICT利活用取組事例視察【スライド 6～11】

特に意見なし

[2] ネットの安全・安心けいはつコンクール【スライド 12～20】

特に意見なし

[3] 佐賀県サイバーセキュリティ対策シンポジウム【スライド 21～22】

特に意見なし

[4] ICT利活用促進補助事業【スライド 23～26】※各団体より報告有

1) シニアネット佐賀

<香月幹事による報告内容（要点）>

○佐賀市（都市部）、嬉野市・多久市（郡部）にて実施

全参加者数の7割が佐賀市民

○実施して感じること

都市部（人口が多い地区）では、サラリーマン出が多く、第二の人生を歩まれる
向学心のあり、ICTに関心のある方が多い。

I C Tを当たり前に使っている方が多い。

郡部（人口が少ない地区）では、自治体においても I C Tに対する支援（ネット環境整備・ICT 関連講習会等の広報）がとられていない。「ATM が使えない」

「スーパーのセルフレジが使えない」など、機器のリテラシーが低いシニアの方が
多い。

⇒ I T化が進み、3 割が高齢者となる世の中において、シニアの方が I T社会の中
でうまく循環していくために、
自治体において、シニアに対する I C T支援を押し進めてほしい。

2) S I A佐賀

<久野幹事による報告（概要）>

○自治体において、印刷や広報など協力体制に温度差がある。

→ 協力を熱心にしてくれる市町では、多くの相談者が集まった。

○「自分でやってみたが分からなくて前に進めなくなった」「セキュリティのこと」
「インターネットや LINE などやりたいけど、怖くて手が出ない」等の相談が
特に多かった。

○以下のような課題がある。

- ・様々な相談に対応できるスキルをもつ人材育成が必要と感じる
- ・年金のみの所得しかない方にとって、手出しをして（赤字を出して）講習を行う
ことは大変
- ・相談会や講習会への集客の難しさ

⇒ 自治体の協力をぜひお願いしたい

3) I Tサポートさが（事務局より代理報告）※浴本幹事欠席

（幹事からの意見）

◇総会時に補助団体からの直接説明があった方がよい。[西村座長]

◇総会資料における補助事業の説明において、「目的」と「内容」を明確に分けて
記載すべき。（複数団体が似たことを行っているように誤解されかねない）[西村座長]

◇各団体が自主運営しやすいように、市町を巻き込むようにもっていけると良い。

（市町からの後援が得やすい仕組みづくりが必要）[志波幹事]

[5] ICT 利活用促進調査研究・買物困難者支援実証事業【スライド 27～30】

1) ICT 利活用促進調査研究

<羽石幹事による報告（概要）>

- 買物困難者支援実証事業における実証エリア住民対象に調査研究を実施
- 「現在」買物に困っている人は少ないが、「将来的に」不安を感じている人は多い
- インターネット利用者は少なく、ICTを利用した買物への関心も少ない
- 「買物」だけでの集客は困難ではないかと感じる。
- 「自分の目で見たい」「ネットスーパーに対する抵抗感」「ICTに対する抵抗感」を払拭することが、事業成功のためには重要となると思われる。

特に意見なし

2) 買物困難者支援実証事業

特に意見なし

[その他] ICT 利活用講演会について

※事務局提案※

- テーマはあくまで「IoTのビジョン」とはいえ、幹事より県内の取組事例など話してもらえると良いという意見があるため、ぜひ取り入れればと思う。
- また、ICT 事業者だけでなく、(ICT の恩恵を受ける) 課題をもつ現場からの意見をもらえるような形で開催できるよう検討をしていく。

◆決議した事項

(2) 次期中期推進項目（案）について【決議事項】 ※スライド 31～35

企画運営G案で承認

(幹事からの意見)

◇総会資料だけでなく、HPにおいても掲載するようにした方が良い。[西村座長]

(3) 来年度事業の具体的方向性について【決議事項】 ※スライド 36～44

[1] ICT 利活用講演会 [継続 21・一部変更 1・廃止 0]

継続承認

(一部変更の理由)

◇「(毎年やってるから) 講演会ありき」としているのではないか? という点が気になるという意味で「一部変更」[藤原会長]

[2] ICT 利活用事例視察 [継続 12・一部変更 7・廃止 0]

一部変更して継続承認

(一部変更の理由)

- ◇テーマ（視察先）要望があることが前提で行うべき（牧幹事・吉永幹事）
- ◇予算枠は確保しておき、実証事業等で必要と感じられる関連事例があれば実施というやり方ではどうか（大野幹事）
- ◇現地集合・現地解散という形で、高情協の組織力を使い、普段見れないものを見に行くのもよいのでは（青木幹事）
- ◇泊付きでの視察など、条件を拡大して実施しては（森本幹事）

※事務局より※

立ち上げ当初確認していたように、「要望がなければ流す」というはずであったが、初年度からは流しづらかったので、会員として佐賀県より提案をさせていただいた。しかし、来年度からは「会員からの提案」を大切にして、拡大路線も含めて一部変更して実施させていただきたい。

[3] 情報セキュリティ関係機関・団体との連携 [継続 22・一部変更 0・廃止 0]

(改革しながらの) 継続承認

[4] ネットの安全・安心けいはつコンクール [継続 21・一部変更 1・廃止 0]

継続承認

(事務局からの補足説明)

ITサポートさがが、助成金等を得られなかった時のために、予算枠を設けていたが、今年度からは「ふるさと納税」の対象事業として認められたとのことで、継続的な予算確保ができるようになったので、高情協から資金が動くことはない。

(一部変更の理由)

- ◇今年度、応募点数が大幅に減少したことを踏まえ、もっと子どもたちが関心を寄せるような募集のかけ方など広報について検討すべき。[森本幹事]

[5] 情報モラル啓発イベント [継続 22・一部変更 0・廃止 0]

継続承認

[6] ICT 普及に関する講習会 [継続 17・一部変更 4・廃止 0]

一部変更して継続承認

(一部変更の理由)

- ◇市街地（市）と農村部（町）で年度内に比較できるような開催 [香月幹事]
 - それを通じた市町の通信環境整備への働きかけ
 - 情報格差等が明らかになるなど、効果測定的面でもよい
- ◇講座受講者の継続的な利用・学習につながっているのかを測る必要あり [藤原会長]
- ◇初級・中級など段階的な開催、ビデオ配信で受講できない方も受講できる工夫ができないか？ [加藤幹事]
- ◇「機器の使い方」からではなく、「使う目的」を切り口とした講座を検討しては？ [大野副会長]
- ◇S I A佐賀・S N佐賀との連携強化を行うべき [大野副会長]
- ◇近年、デバイス・サービスが多様化していて、「目的」「対象者」等を定めることが困難になってきていて、市町での対応が難しくなっている。 [吉永幹事]

[7] ICT 利活用推進団体支援事業 [継続 17・一部変更 4・廃止 0]

一部変更して継続承認

[6] ICT 普及に関する講習会も含めて、S I A佐賀、S N佐賀、I Tサポートさがと改めて協議を行っていく必要あり。

(一部変更の理由)

- ◇予算増を希望（15万円ではせいぜい1か所程度） [久野幹事・香月幹事]
- ◇団体資金繰りが厳しいので、県にデバイス等の準備をお願いしたい [香月幹事]
- ◇期限がいつまでの事業なのか？ [藤原会長]
- ◇本当に必要と判断するのであれば、民間に協力をお願いしたり、県が施策をうつなど違ったアプローチも必要では？ そして、15万円補助というのは中途半端すぎると思われる [藤原会長]
- ◇高情協は、トレンドに対してお金をつけて、問題点を洗い出して、「民間」や「市町」の予算化に落とし込むきっかけ作りを行うことが重要では？
 - 着地点を明確にすべき [西村座長]

※予算化の筋道をつけるための県としての見解は？ [西村座長]

- やりっぱなしの事業ではなく、「着地点」「成果はどこにあるのか」など、県民がICTを利活用して、生きやすい社会を作る課題として整理し、自治体が予算化するルールにのっけていくのは可能ではないかと思われるが、現状ではその整理ができていないように考える。[事務局]
- 県として10年近く推進団体育成を行ってきた実績があり、市町への働きかけも行ってきたが、市町の課題意識の関係もあり、なかなか進まないのが現状。様々な機器・サービスが出てくる中で、使いこなせる段階にいけない方が多く増えてくると思われるので、市町が県民に対して支援すべきか検討することが重要
→ しかし、簡単には進まないと思われるので、しばらく高情協で行っていく必要があると思われるので、若干でも予算を増やしてよいのではないか

[志波幹事]

[8] ネットワーク・広報事業 [継続 18・一部変更 4・廃止 0]

継続承認

(一部変更の理由)

- ◇HPもFBも「誰(会員?県民?)」「何」を発信したいのか分からない。
→ 目的を明確にして、運用してほしい [大野幹事]
- ◇HP、FB、Twitterの特性を生かした広報の方法を検討すべき。
→ そうしないと広がっていかない [吉永幹事]
- ◇会員インセンティブを高める取組の充実に向けて、広報Gで検討 [森本幹事]

[9] ICT利活用促進調査研究 [継続 22・一部変更 0・廃止 0]

継続承認 ※来年度も実証事業と連携して行う予定

[10] 買物困難者支援実証事業 [継続 22・一部変更 0・廃止 0]

継続承認

(4) 本協議会の今後の方向性の検討について【決議事項】 ※スライド 45~51

新体制(新年度)になってから具体的に協議 [大野副会長より提案]

(一年を通し、全員が意識を1つにしたうえで協議すべき問題だと思うので)

(5) 次期幹事、各Gについて【決議事項】 ※スライド 52～57

応募されている方については承認

※事務局より提案※

○規約で「幹事25名程度」となっているので、新しい幹事を入れて、新しい考えを取り入れるためにも、幹事に適した人材を推薦してほしい。

⇒ 現在20名の応募で、応募枠に余分があるため、新しい風を入れるためにも1週間程度目途（3月末まで）に事務局まで推薦者を情報提供

◆課題として残ったこと

◇議題(4)については、新体制（新年度）下で協議

◇新幹事（新規入会も含め）の推薦・選出

◆次の行動

<幹事>

○3月末までに、新規幹事（新規入会も含め）の推薦者があれば事務局に情報提供

<企画運営G+事務局>

○「一部変更」が必要な継続事業について検討（4月中）

<広報G+事務局>

○広報方法についての検討（4月中）

<ICT推進団体（SIA 佐賀・SN 佐賀）+事務局>

○「ICT普及に関する講習会」「ICT利活用推進団体補助事業」についての協議（4月中）